

初冬の鎌倉を歩こう 2025年12月18日(木)

11月27日に「晩秋の鎌倉を歩こう」を開催しましたが、申込者が多く日程を追加しておこないました。天候にも恵まれ12月も半ばでしたが、名残の紅葉も楽しめました。初冬の静けさが鎌倉のまた違う風情を見せてくれました。研修は前回同様高取講師の的確な説明と興味深いお話で大変楽しく、参考になる上、ガイドの存在意義まで考えることができる大変有意義なものでした。

参加者19名(正会員14名 非会員5名、英語・フランス語・スペイン語・ポルトガル語・韓国語 東京・神奈川・千葉・埼玉・高知)と案内役1名(高取和代 正会員)・担当1名が朝の北鎌倉駅に集合し、東慶寺・円覚寺・ランチ・明月院・浄智寺・源氏山ハイキングコース・銭洗弁財天・佐助稲荷神社・御成通りと歩きました。名残の紅葉と冬の足音を感じる静かな鎌倉でした。

(ルートの特徴)

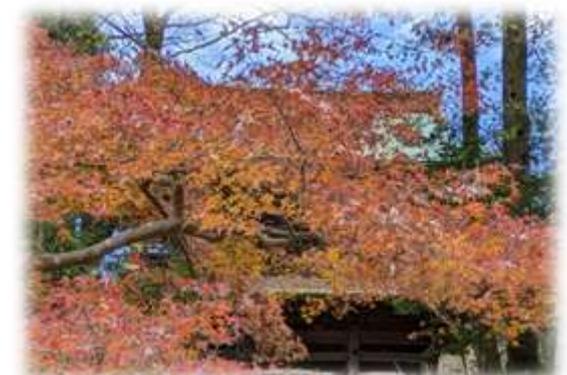
鎌倉の定番の観光コースを含まないコースですがハイキングを組み込み訪れることで人の少ない魅力あふれるルートでした。

(研修の良かった点)

- ・前回同様各自食べたランチについて再集合後各人が状況と感想を話し、情報を共有できました。
- ・ハイキングは結構な上り坂を30分弱歩きました。東京近辺で人が少なく、自然を感じられる場所は案外少なく、とてもいいコースでした。
- ・浄智寺・佐助稲荷とあまり有名ではない場所に様々な魅力があることを知ることができました。
- ・御成通りは前回同様高取講師がいろいろな店を紹介して下さり、見えそうな店が沢山ありました。

(この研修が素晴らしかったところ)

私は前回に引き続きアシスタントとして参加したのですが、今回もガイドの役割ということを強く感じました。高取講師は各場所で前回と同様に要点を説明されましたが、歩きながらの会話は参加者とのやり取りの中で出てきた話を膨らませ楽しい、興味深い会話にしていきました。そのため研修というよりは仲間と一緒に鎌倉を歩いて楽しんでいるような気持ちになりました。前回は30年鎌倉に住まれている高取講師の鎌倉をどう見せたら本当の良さを伝えられるかの力量を感じましたが、今回はそれに加えゲストとの距離感を近くするためにはどのように話をもっていくかの実例を見ることができました。ただ単なる鎌倉の訪問地の勉強だけではなく、ガイドの姿勢、存在意義まで学ぶことが多かった大変有意義な研修でした。



「初冬の鎌倉を歩こう」 研修担当